

令和4年度(2022年度)学校教育目標

学ぶ喜び、つながる喜び、働く喜びを実感できるチーム伊倉の仲間づくり



玉名市立伊倉小学校だより 第13号

「くまもと家庭教育支援チーム」登録証が届きました

本校及び本校PTAは本年度から(令和8年度まで)「くまもと家庭教育支援チーム」登録二期目です。

その実施要項では「くまもと家庭教育支援条例」の理念に基づき、家庭教育を社会全体で支援するため、学校等(就学前施設を含む)、地域活動団体、事業所および関係行政機関を「くまもと家庭教育支援チーム」として登録し、連携・協働して家庭教育支援に取り組み、全ての家庭において主体的な家庭教育ができる環境整備を図るとされています。

具体例として、本校では11月15日に予定している就学時健康診断の際に「親の学び講座」を開催し、新入生保護者同士の関わりの場を提供します。

また、年度末のPTA教育講演会では、情報モラルを含めたメディアコントロールに関する講演会を予定しています。

さらに既に取り組んでいただいている保護者や地域の方々による「読み聞かせ」や「〇付けボランティア」も各家庭における教育力の充実・向上に寄与しているとも言えます。

今回の登録を機に本校ホームページに「家庭・地域」のコーナーを新設しました。ここから家庭教育、地域との関わりについての情報発信をしていきます。

前期終業式…10月7日

前期終業式では各学年代表児童が前期を振り返っての発表をしてくれました。いずれも自分をしっかりと見つめ、後期への意欲あふれる前向きな気持ちや考えを分かりやすく語ってくれました。

私は4分程度のスライドショーで前期

◇本校ホームページも随時更新しています。[伊倉小学校](#)で検索

の思い出を共有することにしました。感染予防を講じながら計画どおりに学校行事等を確実に実施できたことは、児童、保護者、地域の方々のご理解とご協力のお陰であると感謝の気持ちを伝えました。

後期始業式…10月11日

後期始業式では絵本「花さき山」の読み聞かせをしました。そして児童会企画委員会による「仲良し宣言文」の確認につながりました。後期も「全力!協力!楽しく考える伊倉っ子」の児童会スローガンでいきます。



〇〇の秋

「〇〇の秋」の〇〇には何が入りますか。

8月に亡くなられた稲盛和夫(京セラ名誉会長)さんに次のような言葉があります。

人生において一番重要なことは、実際の経験を通して学ぶこと。

読書は、それらの経験をもっと意味のあるものにしてくれる。

中学生が行っている「職場体験」は「職場経験」とは言いません。ここから「体験」と「経験」の違いを考えることができそうです。一時的な体験から積み重ねていく経験へ。そして、その経験をより意義深いものにするのが読書であると言えます。

本との出会いにもタイミングがあります。小学生の瑞々しい感性で読めるタイミング、さまざまな経験を積み重ねたうえでのタイミング。いままさに、それぞれに灯火親しむべきタイミングかもしれません。